

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	佐藤 美和	学校名	川越市立大東中学校
教科（科目）・領域	美術	対象学年（人数）	2年5組（35名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2021年 11月 ～2022年 1月（12時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：2100年未確認生物が、世界を救う！					
2. 中学校美術	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	Bグローバル社会	相互依存	情報化		
	C地球的課題	人権	環境	平和	開発
D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：					
本単元では、未来への期待や不安などをもとに、主題を生みだし、色や色彩の効果を生かしながら、自己の心情を表現することを学ぶ。また、主題においては、SDGsを学習し、2100年になっても変わらない自分にとって大切なもの（価値）を表現する。2100年に生息する未確認生物とは、未来に向かって遅く生きる自分自身である。未来を生きるうえで、本当に必要なものは何かに気づくこと、他者の考えにも共感し、共に生きていくことの大切さを学ぶ。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	a 対象や事柄を捉える造形的な視点について理解している表現方法を創意工夫し、創造的に表している。			
	②思考力、判断力、表現力等	b 造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫。美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。			
	③学びに向かう力	c 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。			

6. 単元設定の理由 ・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由あるいは単元の意義】 進路についてのアンケートを行ったところ、未来に対しての不安を持っている生徒が70%、まあまあ不安・わからないが25%心配していないが5%であった。(5月集計)。この単元設定をする理由は、ネイティブデジタル世代と言われていて、情報も容易に手にできる生徒達だが、その分、未来への不安が高いように感じる。この単元で、どんなに時代が変動しても変わらないあたかな価値が存在することに気づくことで、未来の自分を信じて逞しく生きていってほしいと思うからである。また、SDGsを学習することで、自分が多くの人と関わっていることに気づくことができる考える。 【生徒観】 本学級の生徒は、表現したいことを積極的に発言したり、新しい素材や道具など、様々なことに興味を持って取り組んだりできる。生徒たちは、自分の表したい感じを重ね、色、形、イメージの工夫をしながら、作品を制作してきた。生徒たちは、制作を楽しみ、生徒同士で互いの作品を褒めあったり、アドバイスをしたりというほほえましい姿を見ることがもできる。さらに、自分の作品の主題を明確にするために、友達に意見を求めるなどの手立てを考え実行する力を身につけた生徒もいる。 【教材観】 本題材は、生徒たちが主体を明確に持ち、発想や構想を広げ、目標を持って楽しく表現に取り組める美術への関心や意欲、態度を高めていきたいと考える。今まで、何かを想像して描いたりつくったりする授業では、見たことのあるものを真似したり変形させることはできても、見たこともないものや誰も考えつかない物を新たにつくるのは難しい。ここでの、未確認生物は、世界で初めて発見された生き物のことである。それは、地球上の海中やマグマの中でも火星や宇宙に生息していてもよい。誰も見たことのない不思議な形を想像することで美しく有機的で個性的な形を想像させたい。また、生き物は、その環境で生きるために形や色を進化していく。また、今、世界で起こっていることを「ジブンゴト」と捉え、色、形、イメージを明確にし、なぜ、その形なのか、環境や生態を想像することで自らの主題を生み出し、創意工夫しながら、主体的に取り組ませたいと考えた。SDGsを視野に入れ、地球を救うのは未確認生物であり、未来を生きぬく自分の思いの形である。2100年になっても変わらない価値観を持つことで、逞しく生きてほしいという思いがある。 【指導観】 生徒の実態を考え「抽象彫刻」について取り組みやすくするために、はじめは、アメーバーという有機的な形の生物の存在を話す。しかし、理科の教科書で目にする「アメーバー」は、実物とは違いプレパラートでつぶされた形となっている。このことが、表現するうえで妨げとなる生徒もいるため、立体の特徴である360度どこから見ても楽しめる多面的な形を意識させ制作させる。色や形に意味を持たせ、将来生息してほしいという未来への願いや時代が変化しても変わらない価値観に気づかせたい。また、自分も未来に生きる生物として強い思いを込めた作品を目指す。そして、生徒たちが、表現することへの興味を高め、さらに主題を明確に持ち、発想や構想を広げていけるようにしたい。
--	--

7. 単元計画（全 12 時間）

この単元を実行する前に、SDG s に関するアンケートを行う

時	ねらい	学習活動	資料など
第 1 次 課題 設定 本時	SDG s を学ぶ（1 時間）	・クイズ ・ビデオを視聴する ・ワークシートに考えを記入する	・ JICA のセミナーで学んだことをもとに作ったオリジナルパワーポイント ・ワークシート ・ SDG s ポスター ・ルワンダの 1 日の生活 DVD ・共につくる私たちの未来
第 2 次 情報 収集	単元と使用する材料の説明（粘土について）（1 時間） イメージを明確にしながら、有機的で独創的な色や色彩を発想し、表現の構想を練る。	・生物の写真を見て構想を練る	・未来を変える目標 SDG s アイデアブック ・朝日新聞パンフレット ・いろんな生息地の生物の写真
第 3 ・ 4 次 課題 設定	アイデアスケッチ（2 時間）	・アイデアスケッチ	・未来を変える目標 SDG s アイデアブック ・朝日新聞パンフレット
第 5 ～ 9 次 課題 追及	制作（5 時間）※中間鑑賞	・粘土制作 ・色付け	
第 10 ～ 11 次	取り扱い説明書作成（2100 年未確認生物図鑑づくり）（2 時間）	・自分の作った作品を写真に撮り、スライドで取り扱い説明書を書く。 ・ Class 全員の「未確認生物取り扱い説明書スライド」をつくる。	
第 12 次	鑑賞（1 時間）	・一人一人発表をする。 ・ SDG s についてアンケートに答える。	・ワークシート ・アンケート

8. 本時の展開（概略）

本時のねらい：SDG s に対する理解を深め、自分も社会の一員であるという自覚を持ち、次事以降の表現活動につなげる。

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入（5 分）	○本時の活動の流れとめあてを確認する。 「今度の課題は、2100 年に生息する未	授業の流れを把握できるように、流れや注意事項を黒板に板書する。	SDG s ポスター掲示

展開 (40分)	確認生物をつくります。」 「2100年になったとき、みんなは何歳？」 ・えー2100年でずっと先だと思ってた。 ・93歳だ ・100年人生って言われてるもん。元気かも。 ・なにしてるかな 「2100年、どんな世界だろうね。楽しみだね。」 「でも、いい世界にするためには、いろんなことに気づいていって、よくないところは改善していけるといいよね。2100年は、みんなの思いにかかっているんです。」 「2100年になっても、これは大事なと思うものってありますか？ワークシートの①にいくつか書いてみてください。」 ・友達 ・家族 ・スマホ ・健康 「ちょっと、スライドを見せますので、考えてみてください。」 「まず、以前にSDGsについてのアンケートをしてもらったので、その結果をお知らせします。」 「どうでしょう。SDG sという言葉は知ってても、よくわからないという人が多いですね。」 ・言葉は聞いたことあるけどという人が多いね。 ・美術と関係あるの？ 「SDG sというのは、2015年に、国連サミットでできた、「世界の持続可能な開発」のためにつくられた目標です。17種類の目標と、169のターゲットで構成されています。」 「持続可能というのは、今だけでなく、ずっとつづけていけることという意味があります。経済、環境、社会制度のバランスよいシステムがうまく働いて、未来が豊かで幸せでありつづけますようにということを意味しています。」 「次にこれは、SDG sを詳しく知っている人が、何に関心があるかというグラフです。」 知らないから、何もしてないかというのと、そうではなくて、いろいろやっていますよ。例	気づいたことを自由に話し合い、記録するよう説明する。 「ワークシート①記入」 「周りの人と話し合う」 SDG sについてどのくらい知っていますか 133 件の回答 83.5% 12% ● 詳しく説明ができるくらい知っている ● 聞いたことはあるがよくわからない ● 初めて聞いた。 「持続可能な社会とは」 「今だけでなく、ずっと続けていけること」 「経済、環境、社会制度の バランスよいシステムがうまく働くこと」 「未来が豊かで幸せでありつづけますように」 16 件の回答 1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリーシップで目標を達成しよう 7 (43.8%) 3 (18.8%) 4 (25%) 8 (50%) 8 (50%) 7 (43.8%) 3 (18.8%) 4 (25%) 4 (25%) 7 (43.8%) 5 (31.3%) 6 (37.5%) 3 (18.8%) 7 (43.8%) 7 (43.8%) 7 (43.8%) 2 (12.5%)	ワークシート
-------------------------	--	--	-------------------

えば、環境と言ったら、どんなことを思い浮かべますか？」

- ・食品ロス
- ・節水
- ・ごみの分別だ。

「そうですね。給食を残さないようにしようとしていたり、水を大事に使ったり、ゴミの分別をしたりいろいろ環境について取り組んでいるね。そういうことが、SDG sの中に含まれています。

他にも、ルールを守ったり、いじめをしないなど、人間関係をよくしようと取り組んでいます。そういう、大切なことを、『世界共通の目標として、取り組んでいきましょう。このままだと、みんなが幸せでよりよい未来は、持続されないし、世界の課題は、日本や、私たちに関わっているという、意識を持とう』という取り組みが SDG s です。廊下に設置されている、様々なエコ回収 BOX です。

これは廊下に貼ってあるポスターです。ポスターには、アフリカでは、水汲みに往復1時間以上かかっています。と書かれています。実際に映像を見てみましょう。左側のポスターには、ルワンダに住む、ダニエリ君の一日の生活を見てみましょう。

(6分)

どうでしたか？

次は、クイズをしながら、いろいろ考えていきましょう。

「第1問: 先ほどのダニエリ君のように、お手伝いなどしながら、学校に通っている子もいれば、世界には、学校に行かれない子がまだいるんですね。

この表を見てください。みんなもコロナで休校を経験したけれど、まさか、学校に行かなくなるって思わなかったよね。このグラフを見てみると、何人の子供が学校に行けてないですか？

- ・ 5780万人
- ・ 女子の方が多いです。

「次の4択でいうとどれですか。」

- ・ え、この4択に答えがあるの？

「正解は B 10人に1人です。

「どうして、学校に通えないんでしょう。」

- ・ D かな

「答えは全部です」

- ・ えー。

取り組んでいる内容を書いてください
8件の回答

食品ロスをできるだけなくせるようにしている

節水、節電、残飯の減量など

奉仕活動や節水を行っている。

環境を守る

節水、節電

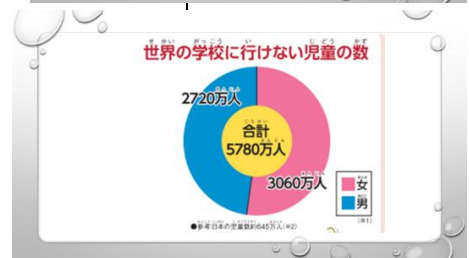
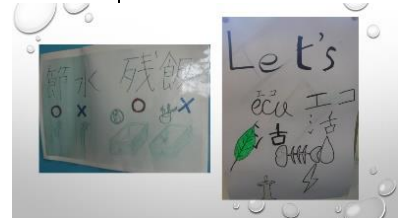
食べ残しを減らす

水を出しすぎないようにする。

ごみの分別



○生徒たちが普段取り組んでいることに気づかせる。



世界では、どのくらいの子供が学校に通っていないか

- A 5人に1人 (約1億4000万人)
- ☒ B 10人に1人 (約5800万人)
- C 25人に1人 (約2700万人)
- D 50人に1人 (約1400万人)

それぞれの理由を聞く

- ・島とかだと、先生がいないかも。
- ・先生が戦争に行ってるかも。
- ・Cの理由は女の子だったら、お手伝いとかできるから、家にいてほしいと思うかも。
- ・Dは、危なくて、勉強どころじゃないよね。「女子の方が、学校に行けてないのは、どうしてだと思いますか？」

- ・女子は、お手伝いができる。
- ・水汲みは、男の仕事だよ。
- ・さっきの学校の映像で、女の子映ってた？先ほどの理由 C にもあるように、家の手伝いなどをしているのかもしれません。

では、学校に行かないまま大人になったらどうでしょう。

- ・字が読めないよね。

「文字を読んだりできませんよね。世界では、そういう大人がどのくらいいるでしょうか」

「ブルゾンちえみが、男の数35億って言ってたでしょ。世界の人口は約70億です。そう思うと、どのくらいだと思いますか」

- ・子供が11人に1人だったから、Bかな
- ・両親どっちかが読めないと、ダメでしょ。Aじゃなきゃ。

「答えはBです。」

- ・えー。それは、まずいでしょ。

「なんで、読み書きができないといけないんでしょうね。みんなは、当たり前のように文字が読めるけど、ここにあるビンに、日本語や英語じゃない学習していない言語の文字で、薬品の名前が書いてあったら読めないよね。学校に行かれないとどんなことがの困るかな。」

- ・文字の読み書きができないと買い物に行かれない。

- ・計算ができないと、だまされてしまう。
- ・手紙が書けないから思いが伝わらない。
- ・携帯も使えない。

「文字が読めないと、生きずらくなってしまう。」

「貧しいからと言って、頑張っていないわけではないし、日本もこういった国に援助もしています。学校も増えてきています。次の写真は、ある国の子供たちです。旅行に行ったときに撮ったものです。この子は、観光客からチップをもらおうとしています。」

○理由を考えさせる。

こどもが学校に通えない理由は何でしょう。

☐ A 教員の数が足りない

☐ B 家にお金がない

☒ C 親戚や近所の人が行かなくていいという

☐ D 戦争や紛争で学校や家が壊されている

世界では、読み書きのできない大人が何人いるか

A 2人に1人 (約25億3000万人)

☒ B 7人に1人 (約7億5000万人)

C 18人に1人 (約2億8000万人)

D 60人に1人 (約8000万人)

もし、読み書きができなかったら
どんなことが起こるでしょう

3本のビンがあります。風邪をひいて頭が痛いです。

頭痛薬、栄養剤、下剤のビンがあります。どれが、頭痛薬でしょう。

頭痛薬 栄養剤 下剤

두통의학 영양 변비약

두통의학 영양 변비약



まとめ (5分)	この子たちは、孤児院の子で、学校に行く途中です。 この川に浮かんでいるのは、学校です。ボートで通います。 私は、学校や教育に関心があるので、その視点から皆さんに資料を見せましたが、他にも、様々な課題があります。 この単元を学習しながら、SDGs をより理解し、人に伝えたり考えたりしていきましょう。 「SDGs について前より、関心を持てたでしょうか。今回の題材は、未来に対する思いを形にします。どんな未来にしたいか、2100 年になっても変わらない思いを生物の色や形に込めましょう。」 机上にある資料の他に、タブレットの課題の中に、「共につくる私たちの未来」という資料を載せてあります。 このような、グラフや、写真で見ると、深刻な世界の状況がわかります。 さらに、SDGs について理解を深めたり、自分のイメージはどの目標になるだろうなど考え自分の思いを深めていきましょう。 「この作品は、①は『人の感情が大切』というテーマから、このように様々な感情を表す生物を考えた作品です。2100 年になっても、人の感情は大切に、怒ったり笑ったりそういう風にして、人と関わっていききたいという思いが込められています。それがなぜ、大切なのか。そこも考えてもらいます。」 「②は、昨年度の県展作品ですが、名前はティチ・テールといいます。『自分の体験だけではなく、先人の知恵を学び、未来へとつないでいく』という思いを表現した作品です。人々の知恵が、絡み合いますが、話し合いをスムーズにしてくれる技を持っています。このように、テーマとなる自分の思いを色と形にしていきましょう。」 「さて、来週は、プリントの①の中から、2100 年になっても変わらない思いを一つ選んで、未確認生物のアイデアスケッチをしていきます。そのために、生物ってなに？生きていくために必要なことを考えます。 「では、終わります。」	共につくる私たちの未来 SDGs アイデアブック 朝日新聞パンフレット ① ② ○資料やタブレットを手に取って周りの人と話し合う。 ○資料を読んだり、友達と話し合ったりする。 ○2100 年未確認生物ワークシート①②を記入する。 ○今日の振り返りを書く。
---------------------	---	---

9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法） SDG s に対する理解を深め、自分も社会の一員であるという自覚を持ち、次事以降の表現活動につなげようとしているか。（観察・ワークシート）
10. 学習方法および外部との連携 特になし
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み 3 学年が SDG s について総合で学習しているので、校内に作品を展示したり、みんなでつくった未確認生物の取り扱い説明書をオンラインで発表したりして、2 年生での SDG s の学習の発表をする。

【自己評価】

12. 苦勞した点	アンケートの結果より、SDG s の認知度が低かったため、生徒たちが興味を持って授業に臨めるようにするには、どのように声がけをしたらいいか、考えることに苦勞した。
13. 改善点	グループで話し合う時間を確保でき、自分の考えを多面的にかんがえていけるような、授業展開をしていきたい。例えば、ジャムボードを使って、17 の項目を自分の興味のある順番に並び替えて、他の生徒たちとの考え方の違いを気づかせたり、他の国では、どのような課題があるのか、自分が調べて見つけた YouTube の紹介をしたりして、視覚的に印象づける取り組みをしていきたい。
14. 成果が出た点	生徒の授業態度や発言、振り返りで、生徒たちの素直な感想がいいあえる雰囲気になり、今後、自分の考えを作品にしていくにあたり、どの考えも尊重され自由に表現ができると生徒たちが感じたこと、また、自分の考えを表に出すことをためらう生徒たちが多いので、しっかり自分の主題をもち、制作に挑む心構えが、態度や発言に現れていたことから、成果は出たと考える。
15. 学びの軌跡 （児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	<この授業を終えて振り返りより> 募金活動などのボランティアに積極的に取り組む 興味を持った内容は少し難しいがみんなに平等に関わっていこうと思いました 節電・節約なるべくゴミを出さないように生活する（ティッシュ、お菓子のゴミなど） お湯を出しっぱなしにしないとか細かいところから注意していきたいと思った。 自分のできることはできるだけやろうと思った。一人ひとりの意見を取り入れる。 地球の環境を保つための研究について調べて、自分にできることを探していきたい いろいろな人がいてみんな平等だと理解する。個人的に項目を達成できたか確認する差別をなくして、公平にしたいと思った。日頃から友達と公平に接すること。 もらったりできるものは必要な分だけもらって無駄をなくしたり、ゴミはきちんとゴミ箱に入れ、分別したい。身近なことですぐできること→給食の残飯を減らす 最後まで責任を持って使う。環境にいいことしたい。ポイ捨てや水を出しっぱなしにしない。町のゴミ拾い、私生活での水や電気の節約。残飯などは、努力すれば減らせると思うので配られた給食は残さず食べるとか工夫したいです SDGs について調べたいと思った。節水など、普段から簡単にできそうなことを、意識して行っていきたい。環境問題をよく考えて自分が今できることを探す。

募金や資源回収などに参加して貧しい人などに支援をしていきたいと思います
なるべく徒歩や自転車で行く。必要ないときは水などを使わないや食品ロスをなくするため必要な量しか買わない。トイレットペーパーを節約する、ポイ捨てしないを続ける。捨てるゴミをリサイクルできるものはするようにしたい。

水道などの出しっぱなしや、使い捨てプラスチックなどに頼らないようにしていきたいです。ゴミを捨てずにリサイクルをすること。無駄なことをしないことや環境に良いことをすること。買い物は使う文だけ買ってものを大切にする。

自分から進んで **SDGs** を大切にしたいので使えるものはまだ捨てず、違うものに活かすなどに取り組みたいです。いくつかの目標を覚えてそれを意識して生活していきたい。他の国に比べて日本は水道水が飲めたり、好きなときに好きなものを食べたりすごく自由で裕福なんじゃないかなと思いました。だから、残飯を減らしたりまづを大切にしたり私達にもできる簡単なことからやっていきたいです。ゴミを落とさないようにして陸や海をきれいにすることを心がけたい。大東中学校で行っている奉仕活動に積極的に取り組み少しでも世界の環境を良くしたい。自分にできること資源を大切にしたりみんな平等に接する **SDGs** について知らないことも多いので調べたりして知りたいです。みんなが住みやすい環境を作りたいと思った。二酸化炭素を減らす。

私は、お金がないと環境を守る働きができないと思っています。なのでまず、経済面で発達させて環境問題を解決させていけばいいと思います。経済面を発達させるために個人的な考えでは、日本は資源が少ないみたいなので観光業で経済面を発達させたほうが良いと思います。経済を豊かにしていきそこから森林を増やす働きをしていけば良いと思います。一度に何個もの事をしたとしても進み方に差ができて偏ってしまうので一個のものに集中して問題を解決させていくべきだと考えています。"

貧困の差をなくするために節水、節電を心がけたい。エコバックを使うなどリサイクルできるものはリサイクルするなどをするなど。この考えを、自分より下の子に伝えたりしてこの考えを途絶えさせない。次の世代やその次の世代まで持続できるようにしたい。環境を守るために、自分が少しでもできることはやっていきたい。

地球の環境を守ること。見た目や性別でひとを判断しない。

食品ロスをなくするためにたくさん食べる。ポイ捨てなどを無くす

無駄使いとかをしないようにきをつける。森林破壊などをなくしたい

自分の周りから公平や平等について考える。色んな性についての本を読む ゴミを減らす。人によって態度を変えたりしない。資源を大切に、ポイ捨てなどをしないように、日頃から **SDGs** のことを意識しながら行きたいです。電気の節約。

地球にいい環境づくりを意識して生活し、リサイクルなどをしたい。不平等をなくして、平和な世界を作っていきたいです。私の課題は、給食を食べることです。

意識して生活したい。気軽に物を捨てない。残飯を減らすために給食を残さず食べる使わなくなったものをリサイクルすること。人の容姿や第一印象で嫌がらせや差別をしない。自分ができるところを探して少しでも早く **SDGs** を達成できるようにしたいです。小さいことからでも意識して取り組めるようにしたい。

戦争をなくそうとする心を持つ。エコバッグの使用等意識する

これまであったダメなことをなくしていきたい。

16. 授業者による自由記述	「2100 年末確認生物が、世界を救う！」の単元の本時の活動では、コロナ渦の生活で、自分たちも分散登校や自粛という生活を経ってきたので、学校にいかれない思いやいけない理由が共感できたようでした。文字が読めないということは、自分の命に関わることがということも感じた生徒もいました。美術は、難しいことを自分の感性で表現して簡単にして人に伝えることができます。SDG s の取り組みは、どのようにしたらできるのかを考えながら、自分たちの制作した未確認生物で表現することを、楽しんで制作するいい導入ができました。 「2100 年に生息する未確認生物は、君たちです。2100 年にどんなふうに生きていたい作品に込めてください。」と言ったとき、はっとした表情を、生徒たちは見せてくれました。SDG s の考えを、作品に込めることが将来の自分たちにとって大変意味のあることだと感じ取ってくれたのではないかと思います。 導入の最後の振り返りでは、たくさんの意見が書かれていました。また、授業が終わった後も、資料を見たり、見せ合って話したりしていました。 指導案に詳しく乗せていませんが、本時を経て、2 次・3 次の授業では、各自主題を深めていきます。私の机の前には、「挑戦者」と書かれた席があります。自分の主題が決まったら、まず一人でプレゼンをしにきます。自分の考えが深まっていないと、合格できません。ある合格した生徒は、「2100 年になっても大切なことはスポーツです。なぜならスポーツは『伝えること』を教えてくれるからです。というプレゼンをしました。その生徒は、テーマをなぜ、『言葉』にしなかったのかも話してくれました。「テーマを『言葉』にしなかった理由は、話ができない子もいるし、他国移籍だと言語の違いで意思疎通が難しいです。でも、『伝える』だったら言葉はいらないからです。僕はサッカーをやっているんですけど、4 月に、日本人ではない子が入団してきました。そのときに日本語がわからない子だったんだけど、技も伝えられたし、自分も教わることができた。面白さも伝えられた。というところでプレゼンが終了し、私が「いいね。合格！」というと、周りの生徒もやったねー。すごーいと絶賛の雰囲気が漂いました。他には、「食べること」大事です。「家族団らんの時間は、2100 年になってもあってほしいから」「どうでしょう！」「いいね。合格！」など。しかし、中には、「食べること」の意味が「栄養が……。死んじゃうし……。」の生徒もいるので「サプリでもいいよね。何で食べるのが大事なんだろうね」というやりとりもあります。重たい空気になりますが、再度、救世士をつれて私の所に挑みに来ます。救世士は 5 人の時もあります。なかなか自分の思いが深まらず、他の生徒と教室のあちらこちらで議論が繰り広げられています。こうなれば、私の出番は。「いいね。合格！」を言うだけです。みんな 2100 年に何が大事か考え、それを作品にしていって授業は、生徒の成長が感じられる時間になります。各自が真剣に考えてたどり着いた「主題」だからこそ、自信を持って制作にあたれます。 このように、授業が展開されるたびに、「主題」を明確にしていくので、時間がかかります。しかし、主題と芸術的意図を明確にして表現していくことは、生徒の自信につながるので、今後はさらに発展させた授業を継続していきたいです。
-----------------------	---

参考資料：日本文教出版 教師用指導書 授業の指導編（2・3 下）

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 美術

2100年 未確認生物アイデアスケッチ

年 組 番 名前

① あなたが生きていくうえで、大切・なくなってほしくない物はなんですか。

② ①の中一つ選び、理由をかきましょう。

③さらに深めていきましょう。

④その大切なものをずっと守ってくれたり、思いをかなえてくれる生物がいたら、どんなものかいてみましょう。

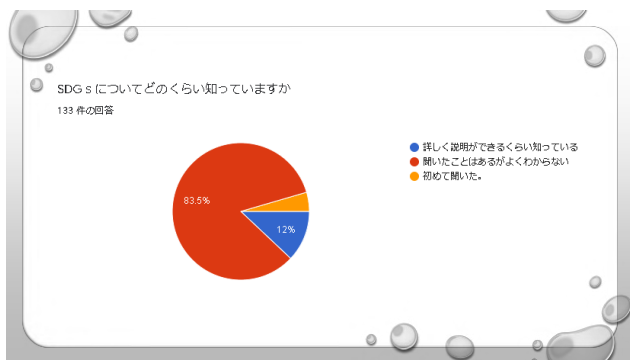
⑤生態をかいてみましょう。

どこに住んでる？

何を食べて生きてる？

得意技は？

⑥いろいろ進化させて描いてみましょう

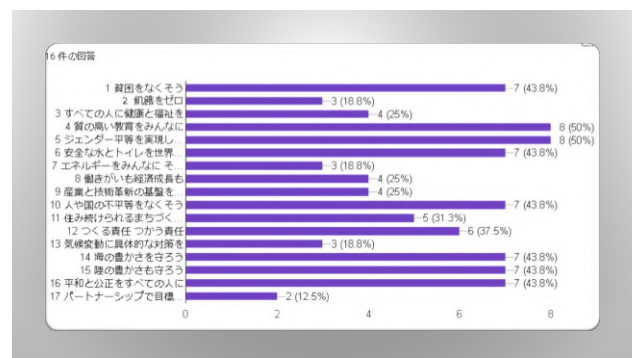


持続可能な社会とは

今だけでなく、ずっと続けていけること

**経済、環境、社会制度の
バランスよいシステムがうまく働くこと**

未来が豊かで幸せでありつづけますように



取り組んでいる内容を書いてください
8件の回答

食品ロスをできるだけなくせるようにしている

節水、節電、残飯の減量など

奉仕活動や節水を行っている。

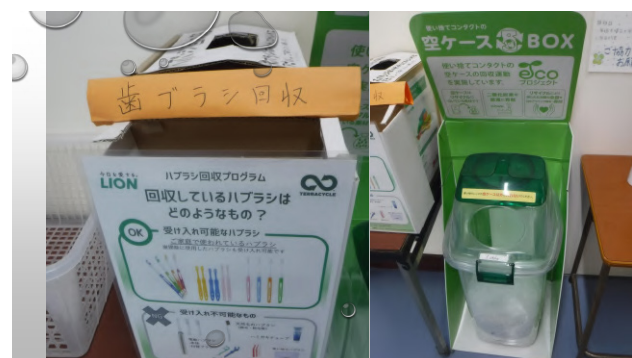
環境を守る

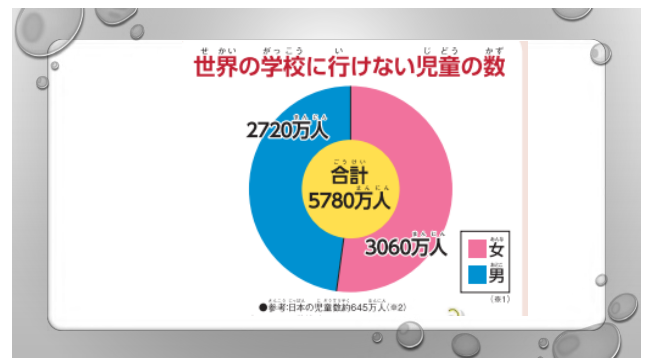
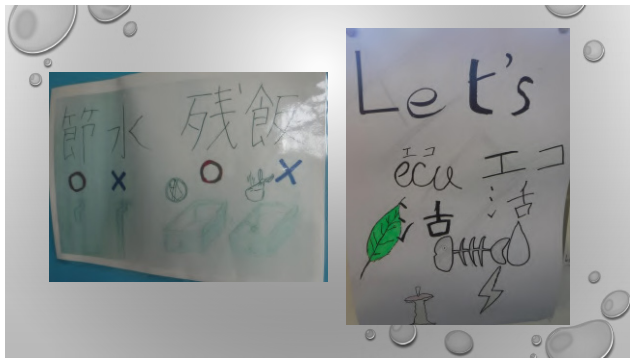
節水、節電

食べ残しを減らす

水を出しすぎないようにする。

ごみの分別





世界では、どのくらいの子供が学校に通っていないか

- A 5人に1人（約1億4000万人）
- ☒ B 10人に1人（約5800万人）
- C 25人に1人（約2700万人）
- D 50人に1人（約1400万人）

こどもが学校に通えない理由は何でしょう。

- ☒ A 教員の数足りない
- ☒ B 家にお金がない
- ☒ C 親戚や近所の人が行かなくていいという
- ☒ D 戦争や紛争で学校や家が壊されている

世界では、読み書きのできない大人が何人いるか

- A 2人に1人 (約25億3000万人)
- B 7人に1人 (約7億5000万人)**
- C 18人に1人 (約2億8000万人)
- D 60人に1人 (約8000万人)

もし、読み書きができなかったら
どんなことが起こるでしょう

3本のビンがあります。風邪をひいて
頭が痛いです。

頭痛薬、栄養剤、下剤のビンがあり
ます。どれが、頭痛薬でしょう。

頭痛薬

栄養剤

下剤



두통
의학

영양

변비약



